



# 赤目まちづくり委員会・市民センター たきこちゃん通信 1

2022年  
月号

発行/赤目まちづくり委員会(赤目市民センター)〒518-0465名張市赤目町丈六238-1 電話/FAX63-0329 E-mail/akame-ko@emachi-nabari.jp

## 令和4年を迎え 新たな思いで出発を！

赤目まちづくり委員会 会長 亀本和丈

新年あけましておめでとうございます。

2022年、令和4年の新春を迎え、地域皆様方に一言ご挨拶を申し上げます。昨年を振り返ってみますと、コロナに明け暮れた一年であったと云っても過言ではない処であります。国内に於いても様々な変化、変革の年であり、私達の身近に於いても県知事の改選、加えて衆議院議員の総選挙等、大きな変わりの年でありました。

私達赤目まちづくりに於きましてもコロナ禍のもと人数を予想されるイベント等は中止も止む得ず、一昨年から2ヶ年にも及ぶコロナウィルスにより振り回されたと、怒りの絶える事のない一年であったかと思われるところであります。しかしながら昨年12月発行の通信でもお伝えいたしました様に、地域皆様方のご理解とご協力並びにスタッフ皆様方の色々な発想と努力により、今までとは形を変えながらも目的を達する事が出来改めて感謝申し上げる処であります。

二度とありえる事のないオリンピック聖火の到来やパラリンピック聖火の採火式は、もちろん今まで以上に児童生徒を含む地域住民すべての人を対象に「和と健康」を目指し赤目竹あかりプロジェクトの設立を始め、多世代・多目的・多目的の総合型スポーツクラブ赤目版の設立等、積極的に前向きな赤目の姿に心からありがたく思う処であります。また、迎えた今年は「寅年」であります。目的達成に向かう俊足の如く本年も何事にも迅速な判断と決断、加えてこれに伴う実行を心掛けると共に今年こそコロナの全面収束と皆々様お一人お一人が幸多き年でありますよう、心よりご祈念申し上げ新年によせる一言と致します。

## 令和4年新年を迎えて

赤目市民センター センター長 吉田好文

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えの事と謹んでお慶びを申し上げます。

日頃は、市民センターの運営、活動に対しまして多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年はコロナ禍の中、特に、8/27から9/30迄の「緊急事態宣言」で市民センターが閉館の事態となりましたが、10月からは多人数ご参加の催しは中止するもほぼ平時状態に戻りつつある中、感染力の強いオミクロン株の出現で残念ながらこの先が全く見通せない状態にあります。

市民センターの諸活動は、皆様のご健康が第一前提で、そしてご参加をいただく事で成り立っており、活動を通じた皆様のふれあいや交流が如何に大切かを気づかされた一年であり、これはオンラインでは賄うことはできません。

本年は、このコロナ禍の不安がなくなり、一日も早く平穏な日常を取り戻せますように、そして皆様がお元気で明るい年でありますようご祈念申し上げますと共に、なお、本年も引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 「和風（角風）づくり」をしました。

青少年育成部（水谷部長）主催で12/11・12（土・日）午前中、市民センター工芸室で多くの参加者を迎え、和紙と竹ひご、ボンド・糊を使って、角風を制作。和紙の四隅を折り返し、紙の上に骨の竹ひごを糊付け、あて紙を貼って完成。後は糸目糸を付けて、出来上がりです。各自がお家に持って帰って、絵を描いてくれます。新年1月8日（土）のみんなのゆめ広場での「風揚げ大会」が楽しみです。



## ELP 健康講座 12/15（水）開催

健康福祉部（森嶋部長）主催で、「オーラルフレイルを予防する」ELP 健康講座を開催。講師、島岡育代先生。



## 「ふれあいサロン」・「赤目忍たま広場」を開催

年内最後の催し12/22（水）とあって、サンタさん・トナカイさんはじめボランティアの方等多くの参加を頂きました。コロナ対策万全で楽しい集いとなりました。皆さん、ありがとうございます。

ふれあいサロンの模様



忍たま広場の模様



## 12/7（火）「ダム見学ツアー」を実施。

近郊の室生・比奈地・青蓮寺ダムを見学しました。お昼は、青蓮寺レイクホテルで。詳細は、裏面の歴史散策をお読み下さい。



名張市指定ゴミ袋取扱、紙おむつ専用ごみ袋（無料交付）  
特大 45 リットル 10 枚 480 円・大 30 リットル 10 枚 300 円・  
中 20 リットル 10 枚 180 円・小 10 リットル 10 枚 80 円  
紙おむつ専用ごみ袋は、対象者一人当たり 30 枚以内。

赤目まちづくり委員会  
赤目市民センター  
ホームページ



赤目まちづくり委員会・市民センターの情報がホームページでご覧いただけます。※スマホ・携帯電話で左のQRコードを読み取って下さい。また市民センターでは、無料Wi-Fiが使えます。

皆さん、奮ってご参加ください!!

1月10日～2月6日までの予定

赤目町の皆様へ

赤目市民センター

センター長 吉田 好文

市民センター主催講座

# 組ひも体験教室

伊賀の伝統産業・工芸品の「組紐(くみひも)」を体験してみませんか？

生糸絹糸や金銀糸などを組み糸に使い、組紐で繊細な紐に組み上げます。

映画「君の名は。」で注目を集めた組紐です。ぜひともご参加ください。

・開催日 2月10日(木) 午前10時

・場所 赤目市民センター 工芸室

・講師 中内組紐工房 中内 中(なかうち ひとし)氏

・参加費 2,000円(当日集金)、マスク着用。

・申し込み 1月24日(月)までに、下記申込書をご記入の上、赤目市民センターに

お申し込み下さい。名張ケンコー！マイレージポイント対象です。

・定員20名になり次第締め切ります。

(新型コロナウイルスの感染予防の為、状況により中止になる場合があります。)



赤目市民センター「組ひも体験教室」に参加を申し込みます。

ふりがな

名 前／ (年齢 歳)

住 所／ 電話番号／

## Vol. 24 歴史散策紀行…「赤目文化遺産」

(各区・地域の名所・名品を募集しています。)

### 「名張のダムの話」

まちづくり委員会で12月に近郊のダム見学を実施しました。そこでダムの話を少し。名張市では、青蓮寺ダム・比奈知ダムが、そしてお隣の宇陀市には、室生ダム。伊賀市には、川上ダムが出来ました。伊賀地方は、ほんとうに水に恵まれた地域です。日本には、約3,000箇所のダムがあります。基礎地盤から堤頂までの高さが15メートル以上のものをダムと呼び、それ以下は堰(せき)として扱われます。

まずは、＜青蓮寺ダム＞

青蓮寺ダムが、いちばん古く建設以来50年。堤高82.0m、堤頂長275.0m、貯水量2,720万m<sup>3</sup>のアーチ式コンクリートダムというタイプの多目的ダムです。もっと細かい分類だと中央越流型非対称放物線不等厚アーチダムという日本に1、2例しかない珍しいものです。アーチ式コンクリートダムは美しく弧を描く堤体(ていたい)を見ることが出来るダムで、青蓮寺ダムも巨大なアーチの堤体を見ることが出来ます。

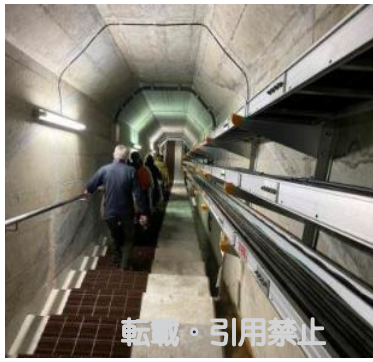
天端の道路は車一台がやっとの狭い道路で、途中で対向車とすれ違ったら大変。また青蓮寺ダム湖にかかる橋は、青い橋が「青蓮寺橋」、赤い橋が「弁天橋」です。それぞれの橋が湖に映える造形美が素晴らしい。今回8人用モノレールで堤体下部まで下りて、放流ゲート口を見上げる事が出来ました。

そして、＜比奈知ダム＞

比奈知ダムは、重力式コンクリートダムで建設以来23年、高さは70.5m、堤頂長355.0m、貯水量1,840万m<sup>3</sup>。ダム特有の美しい曲線は見られないが高さは十分あり、洋風のお城の城壁のような素敵な堤体で見応えがあります。ダムの下にある比奈知ダム親水公園は、水遊びにまた六月にはホタルが乱舞する。名張川・木津川・淀川流域の洪水調節、流域既得用水の補給として不特定利水、京都府・奈良市・名張市への上水道供給、中部電力の小規模水力発電(1,800kW)を目的とした多目的ダムです。

今回は、特別に監査廊(かんさろう)・堤体内部、通廊(階段)・エレベータを利用して入れて頂きました。階段を下りてポンプ室・発電室も見学。(要事前予約)「本当にありがとうございました。」

多目的ダムは、その利用目的として1. 治水・灌漑用の水・環境保全 2. 災害防止のための河川の水量コントロール 3. 利水・上水道としての利用 4. 電力発電などの用途があります。多くの年月と費用をかけて作ったコンクリートの塊(ダム)もコンクリートの耐久年数がおおよそ100年と云われ、今後の利活用に問題を残すものの、私たちの現在の生活を維持するために、また風水害に対する「安心と安全を守る」必要不可欠な存在です。



転載・引用禁止